奥嵯峨の、ちょっと不思議な歴史物語。

奥嵯峨 鳥居本

化野念仏寺

京都魔界巡礼

奥嵯峨

冥界　仏界　神界

清涼寺

地域にまつわる、ちょっと不思議な歴史物語で奥嵯峨を丘真奈美がご案内します。

『京都魔界巡礼 奥嵯峨～癒しの冥界・仏界・神界』

「京都魔界巡礼」の著者
丘 真奈美
（ 歴史作家 ）

開催日 平成 29 年 **10 月 7 日（土）**

事前お申し込み制（先着順）
定員30名様限定
● 定員に達し次第、受付を終了いたします。お早めにお申込ください。

参加費：3,000 円
● 清涼寺・化野念仏寺 拝観料 ＋ 平野屋 お茶菓子代 含

お申し込みは嵐電ホームページにて　http://randen.keifuku.co.jp

主催：京福電気鉄道株式会社　協力：清涼寺　化野念仏寺
後援：京都府、京都市、京都商工会議所、公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人京都市観光協会
お問い合わせ：075-277-2877（京福電気鉄道株式会社 沿線担当）

当日のスケジュール（コース約 3 km）

【9:00】嵐電 嵐山駅 集合
↓（徒歩で移動）
● 清涼寺（嵯峨釈迦堂）拝観
● 化野念仏寺 拝観
● 京都市嵯峨鳥居本町並み保存館 入館
● 鮎茶屋 平野屋（お茶菓子 休憩）
【12:00】● 終了（現地解散）

嵐電嵐山駅へのアクセス
● 京阪電車をご利用の場合 … 三条駅より地下鉄に乗換え太秦天神川駅で嵐電へ
● 阪急電車をご利用の場合 … 嵐山駅（阪急）より徒歩約 12 分または西院駅より嵐電へ
● 市営地下鉄をご利用の場合 … 太秦天神川駅より嵐電へ
● JR をご利用の場合 … JR 嵯峨嵐山駅より徒歩約 8 分

嵐電　京都検定支援事業 本事業は京都検定を応援しています

嵐山へは阪急電車・嵐電でお出かけください

京都魔界巡礼

奥嵯峨 癒しの冥界・仏界・神界

丘真奈美：プロフィール

「冥界、仏界、神界」をテーマに、講師の丘真奈美と奥嵯峨の聖地や史跡を巡礼。奥嵯峨の郷土料理菓子「愛宕しんこ」をいただき、スピリチュアルな癒しのひとときをお過ごしください。

奥嵯峨は、京都市の西北（乾）にそびえる霊峰・愛宕山山麓に広がる田園地帯です。京都の天門（神門・乾）にある愛宕山は、古来より「火伏せの神」が祀られた聖山で、役小角と白山開山の泰澄が愛宕権現太郎坊天狗を祭祀し修験道の拠点となっています。死者の魂は、この山に帰っていくといわれ、山麓には、平安京三大葬式場の１つ「化野」があります。嵯峨野の六道の辻（大覚寺界隈）から、冥界、仏界、神界が形づくられ聖地が点在しています。冥界としては平安時代初期の文人官僚で「昼は朝廷、夜は閻魔庁に仕えた」伝説をもつ小野篁卿ゆかりの史跡、仏界は国宝・三国伝来釈迦如来像を安置する寺院、神界は、愛宕山への参道筋に残された愛宕信仰に関わる史跡があります。

京都市生まれ。合同会社京都ジャーナリズム歴史文化研究所代表。ノートルダム女子大学文学部英語英文学科卒業。出版社勤務後、ＮＨＫ京都キャスター、番組制作ディレクター、（民放）を経て放送作家に。毎日放送『映像 '80 友達　宗谷岬発武庫川行き』で、文化庁芸術祭大賞を受賞。テレビ・ラジオ番組制作、文化事業等を手がけるほか、歴史作家として研究、執筆。ＮＨＫ文化センター、大学、京都検定等の講師、番組コメンテイター、講演等で京都の歴史文化と「日本人の精神世界」を講義。京都市観光おもてなし大使、京都伝統文化の森推進協議会文化的価値発信専門委員会副委員長等、自治体有識者委員多数。著書に『京都「魔界」巡礼』、『京都の「ご利益」徹底ガイド』（以上、ＰＨＰ文庫）、『京おんなに学ぶ』（光村推古書院）などがある。

① 清涼寺（嵯峨釈迦堂）

平安時代初期の文人官僚小野篁には「昼は朝廷に夜は閻魔庁に出仕する」という閻魔庁の冥官伝説がある。篁卿は東山の六道珍皇寺の井戸から高野槙を伝って閻魔庁へ赴き、嵯峨野の福生寺の七つ井戸から現世に戻ったという。東山は死して冥土へという意味で「死の六道」、嵯峨野は生き返って現生に「生の六道」という。嵯峨野福生寺は廃寺となりその遺構は嵯峨釈迦堂境内（清涼寺）の薬師寺に継承され、寺の前に「生の六道」の石碑が建っている。薬師寺は年に一度の「送り火地蔵盆」が行われる日に公開され、ご本尊と小野篁に「生御膳」が供えられる。

② 化野念仏寺

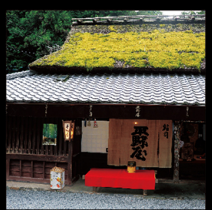
寺伝によると、寺の前身は約 1200 年前に弘法大師が創建した五智山如来寺。その後、法然上人の常念仏道場となり、現在は華西山東漸院念仏寺と称する浄土宗の寺院。化野という葬送の地にあり、当初は風葬だったが土葬となった時に人々は石仏を刻んで死者の冥福を祈った。「西院の河原」にある石仏や石塔は無縁になった人々の墓石である、化野一帯にあったものをこの寺に安祀したという。毎年８月２３、２４日は数千体の無縁仏に灯明を灯す「千灯供養」が行われる。

③ 鳥居本

火伏の神様で全国的に知られる総本社が愛宕山愛宕神社である。ご祭神はカグツチ命。「火廻要慎」のお札は京都の料亭や家庭の台所によく貼られている。「愛宕参りは月参り」といわれたほどかつては身近なお参りで、京都では子供が三歳までに参ると一生火事に遭わないといわれてきた。愛宕山は役行者と秦泰澄によって開かれた修験道の聖山である。かつては太郎坊という天狗（日本八天狗の一人）が棲んだという魔所でもあった。鳥居本の里は愛宕参りの参道である愛宕街道筋に広がる集落で、愛宕参りの人々で賑わう門前町として栄えた。

京都市嵯峨鳥居本町並み保存館

京都市嵯峨鳥居本町並み保存館は、嵯峨鳥居本伝統的建造物群保存地区にあり、建物や内装そのものが展示物で、奥嵯峨の伝統的な建物に直接触れていただくことができます。昭和初期の愛宕街道の町並みを精密に復元した模型も展示され、古き良き京都の風情を楽しんでいただけます。



平野屋

火の要慎の神、愛宕神社詣での愛宕街道の古道、一の鳥居の畔で四百年、平野屋は鮎問屋・茶店をして名物「志んこ団子」を旅人に供してまいりました。団子のねじれた形は、愛宕神社までの山道を模したもの。今も昔と変わらず、毎朝おくどさんに火を入れることから一日が始まります。

嵐電嵐山駅（集合 9:00）
→（約 1 km）→ 清涼寺（嵯峨釈迦堂）拝観（約 15 分）
→（約500m）→ 落柿舎（前を通過）
→（約 1 km）→ 化野念仏寺 拝観（約 20 分）
→（約180m）→ 京都市嵯峨鳥居本町並み保存館 入館（約 3 分）
→（約160m）→ 平野屋（志んこ）お茶菓子休憩（約 4 分）

約３km のコースです。平野屋で解散になります。最寄り「鳥居本」バス停まで徒歩約３分です。

イベントに関するお問い合わせ：☎ 075-277-2877（京福電気鉄道株式会社 沿線担当）

京福電鉄　KEIHAN こころまち つくろう